

「第10回前橋の地域若者会議」

「前橋の地域若者会議」主催

事務局 青木

2月25日に開催された「第10回前橋の地域若者会議」に参加させていただきましたので報告レポートを掲載させていただきます。

会議は午後7時から開始され、20代～30代の方を中心に約30名が参加しました。今年に入って初めての会議であり、新規メンバーも募集したとことで、始めに若者会議の趣旨説明がありました。「前橋市では10年前に地区公民館単位の5地区から地域づく

り協議会が発足し、現在は22地区で活動が行われているが、どこの地区でも若い人が出てこないことが課題であった。若い人は生活の時間帯や価値観が異なること、地区単位にこだわっていないこと等から、約1年前にオール前橋の若者会議を立ち上げた。」と設立の経緯について説明があり、「2年目を迎える今年は、いかに地域と接点を持つかを考えていきたい。また、他県の若者会議との交流も計画していく。」と今後の方針が示されました。



趣旨説明後、手のひらの温もりを感じながらコミュニケーションをとるといふ「ハグモミ」と体を動かしながらの自己紹介により会場の雰囲気や和らげ、各メンバーからの事業報告、提案発表へと移りました。

「メンバーがやりたいことを実現する場」の言葉のとおり、メンバーそれぞれがプロジェクトを立案、実行している様子であり、数多くの事業報告、提案発表が行われました。多様なメンバーがそれぞれ興味のある事業を実施しているため、「地域と公共交通を考えるイベント」や「子育て応援プロジェクト」等、様々な事業が行われており、会議の中でそれぞれが提案したプロジェクトに連携が生まれるなど、個の力が集結し、発展していく状況がみられました。

会議には、前橋市内の各地区の地域づくり協議会からの参加者もいらっしゃるなど、市内の各地区との連携も行われている様子である一方、藤岡市の地域づくり団体が視察を兼ねて参加

しているなど、他の地域との連携も積極的に進めている様子でした。

参加させていただき、最も強く感じたことは、皆さんが楽しみながら参加しているということです。地域づくりに関しては、若い方の参加が少ないと言われていますが、若い方でも地域づくりに対する熱い想いを持っている方が多くいらっしゃることに改めて気付くことができました。メンバーひとりひとりが楽しみながら主体的に活動し、各地区や他県を含めた他の地域との連携を積極的に進める「前橋の地域若者会議」の活動は、大変魅力的に感じました。自由な発想や実現に向けたネットワークの軽さなど、今後の事務局運営の参考にさせていただきたいと思えます。

最後になりますが、前橋の地域若者会議の皆様、快く受け入れていただきありがとうございました。

